

公表

事業所における（児童発達支援）自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ほっぷ・すてっぷ滑川		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日 ～ 2024年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プライベート療育や小集団活動（2～3名程度）での活動を提供しているため、個々のニーズや状況により沿った支援内容を提供することができる。	活動中の様子だけではなく、保護者からご家庭での様子や関係機関（保育園や相談員）からそれぞれの所属先に訪問させて頂いたり、様子などを伺いながら、より発達段階に応じたプログラムを展開できるように情報収集を行っている。	これまで保育園に訪問させて頂き、集団生活の中での様子を見せて頂くことはあったが、反対に、保育園等に当事業所の活動中の様子を見て頂くなど更なる連携強化を図れるように努めていく。
2	他機関との連携		
3	個別指導と集団指導を併用できる	現在、平日に個別指導（個人能力の向上）と毎月1回の土曜日集団クラス（社会性・集団行動の習得）の特色の違う2つのクラスを展開しており、併用して取り組むことができるようにしている。	児童発達支援を提供している事業所が少なく、利用を希望しても利用できないケースも散見されるため、新規事業所開設に向け準備を進めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学生等の長期休暇中には、児童発達支援サービスが利用できない状況となっている	当事業所は多機能型事業所であり、支援室の区切りもなく1室でサービスを提供しているため、放課後等デイサービスとのサービスを同時に提供することが難しい状況となっている。	これまで、イベント日として提供していた祝日等に児童発達支援を提供することにより、長期間（一カ月単位）で利用できないような空白の期間を発生させないようにしていく。
2	館外活動等を行っていない。	天候によって活動内容に左右されず計画的に支援を実施するためと安全面を最大限に確保するために館外活動を行っていない。	イベント等で館外活動に参加できる環境等を構築できないか検討していく。
3			